

平成 29 年 10 月 貫井図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 10 月 26 日 (木) 14 時 00 分から 14 時 40 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 貫井図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「貫」)</p> <p>貫井図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 事業計画について</p> <p>(光) 8 月開催の「暮らしに役立つ講座」について</p> <p>→ (貫) 行政書士を講師に迎え、葬儀、相続、遺言等について講演を行い、区役所等で行っている行政書士による無料相談会の紹介も行った。講演会終了後には、個別相談の時間を設けたところ 5 組の希望があり、関心の高さを感じた。会場に関連資料の展示も行い、貸出があった。なお、手話通訳や要約筆記等の対応が可能として事業の広報を行ったが、申し込みはなかった。</p> <p>→ (光) 当該事業について、手話通訳等の対応を図ることにした理由は。</p> <p>→ (貫) 障害者への合理的配慮の提供の一環。実務的には、講演内容が固まっていたため要約筆記等に対応しやすい事業だったことがある。そうでない事業は対応が難しい。</p> <p>(光) 9 月 22 日の予約状況確認時の本人確認に関する苦情について</p> <p>→ (貫) 現在の予約状況を確認したい旨の電話があったため、利用者カードの番号、氏名、電話番号を伺ったところ、番号と氏名のみで本人確認になると主張された。</p> <p>→ (光) 利用者カードには番号および氏名が記載されている。このため、カードを拾得した可能性等も考慮し、電話番号も確認して、本人確認としている。</p> <p>(光) 9 月開催の「谷修ねりうたライブ」について</p> <p>→ (貫) 今回で 3 年連続 3 回目の開催となる。練馬区を題材とした歌「ねりうた」を通して、練馬区への愛着を深めてもらうとともに、地域情報発信の一環として開催した。普段コンサートに行けない高齢者も多く、「生のギターは良いね」との声があった。</p> <p>② 児童サービス事業について</p> <p>(光) 夏休みの学校支援の状況は。</p> <p>→ (貫) 先生の人数が少なく、児童生徒もいないため支援日はあまり多くない。そこで、児童生徒の利用がないからこそ出来る業務として、図書整理、学級文庫の見直しや装備作業、3 年に 1 回の蔵書点検等を行った。蔵書点検はシステムがないため時間が非常に掛かり、今回は、過去 5 年間に受け入れた分に限定して確認した。</p> <p>(光) 現在の学校支援の活動状況は。</p> <p>→ (貫) 小学校では、読書旬間、読書週間、読書月間を中心に授業に参加している。ブックトークや遊びを交えた読書活動への要望が多く「特色ある読書月間等にしたい」、「調べ学習に関連する読書旬間をしたいから授業に参加してほしい」との声がある。中学校も読書週間、読書月間を行っている。貫井中学校では、読書月間の週 1 回、給食の時間に学校</p>

支援員が校内放送を利用したブックトークを行っている。

→（光）中学校は小学校と較べて読書率が下がるため、支援員からも提案し、読書推進を図っていただきたい。

（光）7月開催の『調べることって楽しい！』～図書館で作る自由研究～について

→（貫）東京学芸大学の先生を講師に迎え、小学校3年生から中学生を対象に自由研究のテーマの決め方、調べ方、まとめ方についてレクチャーを行った。その後、テーマを決めて、図書館資料を使って、調べてまとめるまでの一連の学習を体験してもらった。学校支援員や図書館スタッフが付いて本の選び方を支援したが、子供たちの発想を大切にし、作品の出来栄えよりも「本を使って調べることは楽しい」と感じてもらえることを重視した。出来上がった作品は、参加者同士で感想を伝え合い、作品の写真を後日、館内に展示した。

（光）7月開催の「図書館ツアーで、自由研究」について

→（貫）総括支援員が講師となって休館日に図書館ツアーを行い、図書館についてわかったことをまとめて夏休みの自由研究作品を作るもの。前出の「調べることって楽しい」の前段として、まだ調べ学習は難しい小学校1年生から3年生を対象に行った。施設見学のみでなく、テーマに沿った本探しやレファレンス体験等、一緒に保護者も参加して行い、親子で楽しめる事業となった。こちらも作品は、写真を撮影し、後日館内に展示した。

（光）7月開催の「子育て相談室 in 貫井図書館」について

→（貫）貫井子ども家庭支援センターと連携し、子育て相談室を初めて開催した。図書館としては、展示やブックリストで、関連図書を紹介した。子育て相談は子ども家庭支援センターでも行っているが、人間関係の固定化等の問題もあるようで、人目を気にせず、いつもとは違った場所で落ち着いて相談できる点に図書館で開催する意義を感じた。

（光）9月開催の「映画『うまれる』上映会」について

→（貫）貫井子ども家庭支援センターと共催で出産、育児をテーマにしたドキュメンタリー映画を上映した。午前の部は赤ちゃんや子供達と共に映画を楽しむ回、午後の部は静かに映画を楽しむ回の2部制としたことで、幼い子供を持つ方が周りの目を気にせずに気軽に参加していただけるよう工夫した。アンケートでも気兼ねなく子供と一緒に映画を見られたことを評価されている。

（光）8月開催の「小・中学生のためのしらべる応援隊」について

→（貫）夏休みの宿題や自由研究のための調べものについて、図書館スタッフが「しらべるレンジャー」のバッジを付けてサポートした。視聴覚室等、特定の場所を確保して行うのではなく、カウンターや児童コーナーでの声掛けにより対応した。

（光）9月開催の「ちょこっと図書館員」について

→（貫）中高生の図書館利用を促進するため、図書館の仕事の紹介、ビブリオバトル、図書の修理体験等を行う事業。学校支援校を含めてPRに力を入れたが、参加者は1名だった。7月に行った「図書館ツアーで自由研究」のように小学生を対象とすると多くの参加があるが、中高生に参加してもらえるような事業の企画は難しい。

（光）9月実施の「よみきかせ100回参加の児童に記念品贈呈」について

→（貫）赤ちゃんの頃からよみきかせに参加している児童で、参加スタンプカードが100回となり、花冠の記念品を贈呈し喜ばれた。10回参加すると折り紙で作ったメダルを贈呈しているが、100回参加された方は初めて。